

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で 17細胞/mL 確認されました。ヒロウラ漁場及び榮喜付近でコクロディニウム ポリクリコイデスが増殖傾向にありましたので、海色等に十分注意してください。また、魚類に有害なカレニア ミキモトイ及びカレニアパピリオナセアが最大で 1 及び 1 細胞/mL 確認されました。また、プロロセントラム属が最大で 700 細胞/mL 確認されました。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒原因種であるアレキサンドリウム属及びギムノディニウム カテナータムが 4 及び 27 細胞/mL 確認されました。

調査時間 (11:00～ 13:00) 採集地点	水深	水温	塩分	溶存酸 素	コクロディニウム ポリクリコイデス	カレニア ミキモトイ	カレニア パピリオナ セア	アレキサン ドリウム属	ギムノディニウ ム カテナータム	プロロセン トラム属
	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*1	*1	*3	*3	
宿毛湾中央 下図① 透明度:7.5m	0	23.8	32.6	6.36	0	0	0	0	0	—
	5	23.1	33.0	6.07	0	0	0	0	0	—
	10	22.3	33.4	6.13	0	0	0	0	0	—
シラハエ 下図② 透明度:6.5m	0	23.6	33.2	7.20	1	0	1	0	0	—
	5	22.8	33.6	7.40	8	0	0	0	3	—
	10	22.1	33.6	6.83	0	0	0	4	0	—
ヒロウラ 下図③ 透明度:5.5m	0	24.5	31.7	7.28	17	1	1	0	0	700
	5	22.9	33.6	7.32	0	0	0	0	27	—
	10	22.1	33.8	6.22	0	0	0	0	0	—
狸々碇 下図④ 透明度:5.5m	0	24.5	31.1	6.90	0	0	0	0	0	—
	5	22.6	33.6	6.96	2	0	0	0	0	—
	10	22.6	33.7	5.83	0	0	0	0	0	—

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

\*2：魚類を弱らさせるおそれがある種、\*3：麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府
カレニア ミキモトイ	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	大阪府

〈下図〉

